

# 2重カンチレバー型 振動発電デバイス

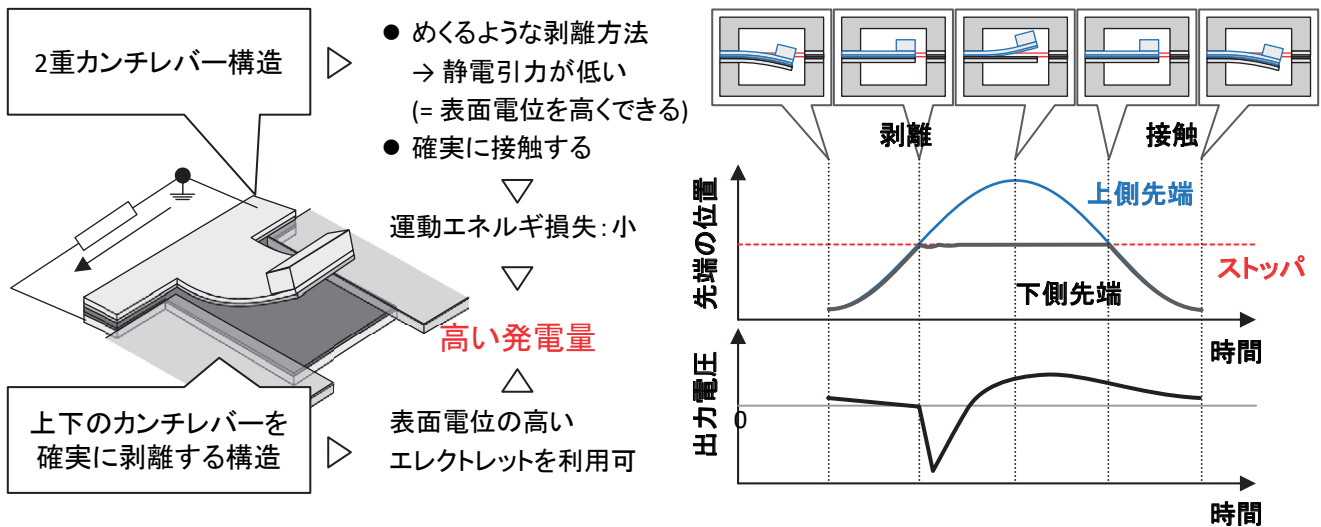
## 用途・応用分野

IoTやセンサネットワークでのセンサへの給電

## 本技術の特徴・従来技術との比較

- 0.2 G (1.96 m/s<sup>2</sup>), 13 Hzの振動で発電量が100 μW
- 従来のデバイスに比べて構造が単純
- エレクトレットを使用する

## 技術の概要



## 特許・論文

<特許>  
「振動発電素子」(特開2018-191481)

## 研究者

高橋 智一  
システム理工学部 機械工学科  
ロボット・マイクロシステム研究室